

科目名	アセンブラ	英語科目名	Assembler
開講年度・学期	平成24年度・後期	対象学科・専攻・学年	電子制御工学科 3年
授業形態	講義(実習を含む)	必修 or 選択	必修
単位数	1単位	単位種類	履修単位(30h)
担当教員	南斉 清巳	居室(もしくは所属)	電子制御工学科棟3階
電話	0285-20-2256	E-mail	nansai@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件
1. アセンブラプログラムの考え方を習得する。	① ②	(B-3) (C-1)	(b) (d) (e)
2. アセンブラを通してコンピュータの仕組みを理解する。			
3. CASL のプログラムが組めるようになる。			
4. 他機種のアセンブラプログラムを短期間で習得できるだけの基礎力を身につける。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1~4: 試験での関連問題について60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
2回の試験と授業中の態度で評価する。 各試験は50分で行う。			
授業内容			
1. CASL II プログラムの基本構成			
2. ロードストア命令			
3. 演算命令			
4. 比較演算命令			
5. 分岐命令			
6. シフト演算命令			
7. スタック操作命令			
8. (前期中間試験)			
9. コールリターン命令			
10. その他の命令			
11. マクロ命令			
12. アセンブラ命令			
13. 総合演習			
14. PICマイコンのアセンブラ			
15. PICマイコンのアセンブラ(続き)			
キーワード	CASL、COMET、アセンブラ、情報処理技術者試験		
教科書	教科書: 使用せず		
参考書	1. 湯田、伊藤、「Z-80 アセンブラプログラムミング入門」オーム社 2. 大下真二郎、「Z-80 アセンブラプログラムミング演習」学献社		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	コンピュータ工学 I, I、プログラム I, II		
現学年の関連科目	プログラム III, IV		
次年度以降の関連科目	ソフトウェア工学 I, II、デジタル工学		
連絡事項			
1. 授業は講義→実習のくり返しで行う 2. ポケットコンピュータにより、教室で実習確認を行いながら進める。 3. 情報処理技術者試験午後問題(CASL)を解く。 4. 授業中は理解確認のために質問を頻繁に行う。			
シラバス作成年月日	平成24年3月31日		